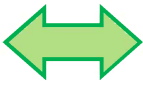


(3) エリア別方針図

聚楽学区は、災害時の避難や救助を支える市の広域的な幹線道路（堀川通）やそれを補完する道路（中立売通・智恵光院通）が通っており、特に中立売通を境に学区の南北で地域特性が異なります。そのため、エリア別方針図では、聚楽学区を南北のエリアを分けて、エリアごとに地域特性や今後の対策の方向性を示します。

《まちの骨格となる防災軸と対策箇所》

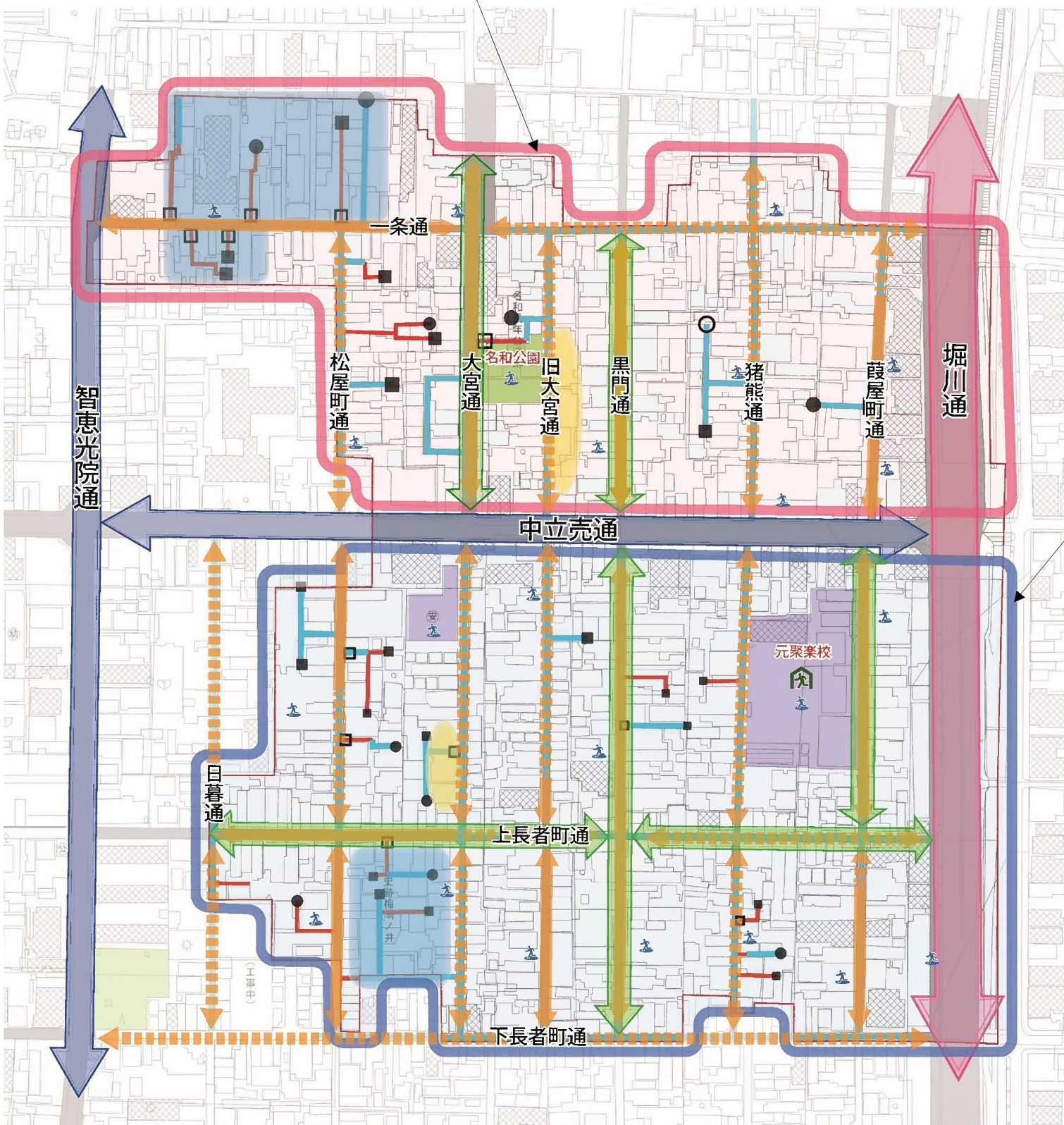
	位置づけ・対策の方向性
	市の広域的な幹線道路 【位置づけ】 ・火災の延焼防止や災害時の避難・救助を支える広域的な幹線道路 【対策の方向性】 ・沿道の建物の耐震化・防火対策 方針 3
	市の広域幹線道路を補完する道 【位置づけ】 ・広域的な幹線道路を補完する道 【対策の方向性】 ・沿道の建物の耐震化・防火対策 方針 3
	学区の防災上重要な道 【位置づけ】 ・火災時の延焼防止や避難所までの避難を支える道 【対策の方向性】 ・沿道の建物の耐震化・防火対策 方針 1
 幅員 4m以上	町内の主となる道 【位置づけ】 ・自宅から「地域の集合場所」や避難所までの避難経路となる町内の主となる道路 【対策の方向性】 ・沿道の建物の耐震化・防火対策 ・後退部分の適正管理・ルールづくり（幅員 4 m未満の場合） ・幅員 4 m以上の拡幅整備（隅切り整備等による交差点の改良を含む） 方針 1
 幅員 4m未満	
	【位置づけ】 ・袋路や木造住宅が比較的集中している箇所 【対策の方向性】 ・2方向避難の確保、袋路始端部建物の耐震化・防火対策等 ・路地の適正管理 ・町単位の取組 ・防災ひろばの整備
	【位置づけ】 ・京町家の町並みが残っている箇所 【対策の方向性】 ・沿道の建物の耐震化・防火対策 ・制度活用による町並みの保全の検討

《中立売通以北エリア》

- ・災害時に、広幅員である大宮通とそれに隣接する名和公園においては、防災上重要な拠点となるため、大宮通を「学区の防災上重要な道」として位置づけ、重点的に耐震化・防火対策を進めます。 **方針 1**
- ・名和公園は、一時避難や救助を支える拠点として、防災機能の維持や充実化を図ります。 **方針 7**
- ・黒門通（4 m以上）は、延焼防止の観点から、「学区の防災上重要な道」として位置づけ、重点的に耐震化・防火対策を進めます。 **方針 1**

《中立売通以南エリア》

- ・災害時に、元聚楽校は避難所となる防災上重要な拠点であるため、防災機能の維持や充実化を図るとともに、避難を支える葭屋町通を「学区の防災上重要な道」として位置づけ、耐震化・防火対策を重点的に進めます。 **方針 1** **方針 7**
- ・黒門通（4 m以上）は、延焼防止の観点から、「学区の防災上重要な道」として位置づけ、重点的に耐震化・防火対策を進めます。 **方針 1**
- ・上長者町通は、現状の幅員が 4 m未満の箇所もありますが、中立売通以南エリアの東西の避難を支える重要な通りであるため、「学区の防災上重要な道」として位置づけ、重点的に幅員 4 m以上の拡幅整備や拡幅整備に合わせた隅切りの整備等、耐震化・防火対策を進めます。 **方針 1**



凡 例	
 幅員 4.0m以上の道	 トンネル路地
 幅員 1.8m以上 4.0m未満の道	 避難所
 幅員 1.8m未満の道	 地域の集合場所
 袋路（突き当りが建物）	 公園・公共空間
 袋路（突き当りが塀・柵等）	 公共施設
 袋路（突き当りが扉）	 学区境界